

参加者の感想

英語を使って学んだこと

南中学校 川口 晴菜

私は英語村での研修や坡州市の中学生との交流を通して、韓国の坡州市の中学生や英語村の先生などと会話をして、言葉の大切さを学びました。

日本では日本語、韓国では韓国語というように、それぞれ同じ種類の言葉なら、自分の気持ちを伝えやすいけれど、母国語でない言葉をつかって自分の気持ちをくわしく伝えるのは難しいと実感しました。

今回私は、最初に坡州市の中学生とあったときにもものすごく緊張したけれど、坡州市の中学生が英語で話しかけてきてくれてうれしかったです。

3日目の夜、日本の友達と韓国の友達の10人くらいでトランプゲームをしました。私達は日本のゲームを説明するのに英語を使いました。なかなか伝えるのが難しいところもあったけど、相手が真剣にうなずきながら聞いてくれたので、ゲームを楽しくできました。

他にも、ごはんを食べるときにメニューの紹介をしてくれたり、韓国語を教えてくれたり、LINEを交換したりするのも英語を使いました。

このように、たくさんの場面で使い、海外の方と仲良くなったりできる英語は、すばらしいものだと思います。

私はこの研修でたくさん英語を話して、少し英語に自信がついたけれど、私が言いたかったこと、聞きたかったことをすべて伝えられたわけではありません。なので、11月にまた会うときに、もっと自分の気持ちを伝えられるように頑張ろうと思います。そのために、英語に毎日ふれて、自分の使える単語の数を増やして、もっと仲良くなれればと思っています。

今回の研修は本当に楽しかったです。またこのようなイベントがあったら参加してみたいと思っています。そのときは今より確実に英語でコミュニケーションがとれるようになっているように、毎日の勉強を頑張ります。



楽しかった韓国

南中学校 山口 果凜

私は、英語村での研修で言葉が通じない人たちとの交流を体験しました。パジュ市の中学生と部屋が同じだったので話す機会が多かったです。その中で英語を使って少し会話ができたり、英語が分からなくてもジェスチャーを使ってお互いにコミュニケーションを図ることができました。また、英語村でロシアの学生とも交流することができました。ロシアの旗を振って迎えてくれて、ゲームをして楽しみました。

授業では、グループに分かれて曲名をあてるゲームをよくしました。私は曲が全然わからなかったけど、パジュ市の子が積極的に発言をしてくれて、自分のチームにポイントを入れることができました。また、先生は元気のいい人が多く最初はとても緊張していて「英語が分からなかったらどうしよう」と思っていたけど、わかりやすく説明してくれて、授業を受けることにより楽しくなってきました。

パジュ市観光中は韓国の歴史に触れることができました。DMZに行って韓国と北朝鮮の戦いについて学ぶことができました。買い物の時は大きなモールに行って、たくさんお土産を買いました。私がウォンを使って買い物をするとき困っていたら、お店の店員さんが優しく声をかけて助けてくれました。



今回、このプログラムに参加して言葉が通じることのありがたさを感じ、また自分の視野が狭いと思いました。英語が通じないと自分の言いたいことを表現するのが難しかったです。そして、政治で日本と韓国がもめている中で韓国の人たちが私たち日本人にとっても親切にしてくれました。国と国、個人と個人は違うという大切なことを身にかけて知ることができました。私にとってこの英語村での研修は多くのことを学べたとても良い経験になりました。

思い出の坡州英語村

南中学校 根津 來美

今回の坡州英語村は一人で応募したので、新しい友達と仲良くなれるのか、とても心配でした。でも、英語村で勉強をすることが楽しみで今までに味わったことがない気持ちでいっぱいでした。

韓国に到着して、まず、日本のみんなと泊まる部屋決めの時、自然に仲良くなり不安の気持ちが楽しい気持ちに変わっていました。同じ部屋になった人は、同学年で安心して話しができ、おもしろくてすぐに仲良くなりました。

いよいよ、韓国人と会う時、また不安な気持ちになりましたが同じ部屋の日本の友達が私をサポートしてくれ打ち解けました。私が英語で困っていると、韓国の友達が優しくわかりやすく伝わるように話しをしてくれ、とても頼もしかったです。

夕食の時間は、おいしそうなおかずで一口食べてみると、とても辛くて、周りの日本人も「辛い！」と言ってました。私はあまり辛い食べ物を食べたことがなく、韓国のみんなはこんなに辛い食べ物を毎日食べているんだなと思いました。夜の自由時間に韓国人の友達に日本のお菓子のお土産を渡すと、すごく喜んでくれて、用意しておいて良かったなと思いました。その韓国の友達が英語で「次、日本で会うとき、お土産をあげるから楽しみにしててね」と言ってくれ、私も嬉しくなりました。

授業はすべてが英語で意味がわからないときもあったけど、ゲームやスライム作りはとても楽しかったです。スライム作りは韓国の友達が混ぜるのが上手でいつの間にか班のみんなとも仲良くなりました。あっという間に時間が過ぎて韓国の友達とお別れするのがとても悲しかったです。見送る最後の最後まで、話しをしたり写真を撮ったりしました。楽しかった坡州英語村の思い出は一生忘れません。また韓国の友達と日本の友達に会いたいです。



様々な人と良い関係を築っていくには

大根中学校 伊 陽鞠

私は、英語の向上と国際交流を目的に参加しました。

研修にて取り組んだゲームでは、チームメンバーとの協力性が求められ、作品の製作では各自の工夫が必要となりました。積極的に英語でコミュニケーションを取り、課題に挑戦した事が貴重な経験になりました。また、ゲームでは音楽や映画の名前を答えるものが多く、韓国からの参加者の正答率の高さに驚きました。日頃から音楽や映画鑑賞を通じて英語の勉強をしているのではないかと思いました。

韓国の参加者は、様々なことに意欲的で一生懸命取り組む姿勢に感銘を受けました。先生方は、様々なルーツを持っていて話がとても面白く、自身のコミュニケーションの取り方の参考になりました。研修では、うまくないこともありましたが、チームメイトと力を合わせ、ベストを尽くす事が出来たので良かったです。

そして、ロシアと韓国との交流では同世代が抱く思いや将来の夢、英語への熱意に触れることができ、刺激になりました。自分の考えや思いをしっかりと主張することが出来ていて素晴らしいなと感じました。韓国の参加者には、ひらがなを書く事ができる人がいました。ロシアの参加者には、お兄さんが日本で働いている人もいました。日本各地に訪れたこともあるそうで親近感を抱きました。また、たくさんの参加者と家族や友達の事、趣味などについても話しました。気楽に話せる雰囲気をつくる事が出来、お互いの友情を深める事に繋がりました。とても充実した時間でした。

現在、国交について色々と報じられていますが、韓国やロシアからの参加者は日本のことを勉強し、好きになってくれています。私は、互いを理解し、より良い関係を築いていくためには広い視野で様々な知識を持つことも必要だと痛感しました。自分の考えを幅広い人と意見交換し、自分の新たな発見や気づきに繋げていきたいです。



沢山の友達と友情を深めた6日間

大根中学校 齊藤 花美

私は7月29日から8月3日までの6日間、秦野市の姉妹都市である「パジュ英語村」という英語のテーマパークで6日間坡州市内の中学生と交流をしました。東京ドーム約6個分の大きい敷地の中には、クラスルーム、食堂、映画館、コンビニ…とさまざまな建物がありました。そのような施設での思い出はいっぱいできました。

まず1つ目は韓国の人々と私達が混合になってレッスンを受けたことです。韓国の人々には日本語は伝わりません。逆に韓国語で言われても私達は理解することができません。そんな時私達のコミュニケーションをとるには英語を使わないといけないのです。韓国の人々は4才くらいから本格的に英語を習うらしいので初めてのレッスンの時から英語がペラペラでびっくりしたし、そんなにペラペラには話せない自分に不安を持ちました。でも英語が上手に話せなかったけど伝わる方法がありました。ジェスチャーです。最初はどうすればいいか分からなくて、とまどいがあったけどやっていくうちに韓国の人々も理解してくれ、初めてお互いを分かり合えました。

2つ目は、英語の学習も大事ですが、私が今回のプログラムで1番大切だと思ったことは韓国の人々と交流することです。私が1番仲よくなったのは、ジアンちゃんです。毎晩、自由時間の時トランプをやったりしていたのですが、ジアンちゃんと仲よくなったら上手には話せないけど、お話しできました。そして、私がジアンちゃんのすごいと思うところは、自分から他国の文化に興味を持っていることです。みんながワイワイしている間、ジアンちゃんは1人で黙々とひらがなを書いたり、日本語で「こんにちは」など少しでも私達と仲良くなれるようにと努力していて、私はすごく尊敬しました。

最初は慣れなくて不安だった日々でしたが、最後お別れの時、自然と悲しい気持ちになったのは韓国の人々のおかげだし、サポートしてくれた日本の友達だと思います。沢山の友達との友情を深めた思い出のある6日間になりました。



英語村研修

大根中学校 曾我 諒斗

僕は、この英語村研修を通して感じたことは、文化の大きな違いやノリと勘と勢いでなんとかなるということです。まず、最初に文化の大きな違いのことを書きます。僕が、文化の大きな違いと思った理由は、バスのおりところが日本は、左に、韓国は、右からです。これは韓国が右から降りるように道路を作ったのだなあーと思います。逆に日本は、道路を左に作ったのだなあーと思いました。ほかに文化の違いだと思ったのは、コーラや飲み物です。コーラとかの缶は、冷たいのに、中はぬるかったです。あと韓国で出された料理です。辛いのが苦手な人、僕みたいな人は、からくて大変だろうけどラーメンやクロワッサンがとてもおいしかったので別に辛い焼肉を食べたのでそれがおいしかったです。でもやっぱり焼肉の中で一番心に残ったのは、とうがらしでした。とうがらしは、3コいっきに食べた人もいて、僕も辛いとうがらしを一つ食べましたが、ものすごくからかったです。でもこの辛いとうがらしは、僕にとって韓国の思い出です。なぜノリと勘と勢いでなんとかなるかというと僕は、英語が全くではないけどほとんど話せません。でもノリと勘と勢いでなんとかなったのは、韓国の人たちが慣れあってくれたから大丈夫でした。それと、友達が、英語を話せるから大丈夫でした。僕は、ほとんど話せないから、役に立てませんでした。次からは、しっかり英語を学びたいです。感想は、以上です。韓国と日本の関係が悪く、せっかくできた友だちと会えないかもしれないと知りとても悲しいです。英語を話せなかったし、辛い食べ物も苦手ですが、友だちを思う気持ちに文化の違いなど関係ありません。次に会える時のために僕は、一生けんめい英語の勉強を頑張りたいと思います。



人の優しさ

西中学校 沼田 優樹

行きのバスや飛行機の中では自分の知っている友達としか話しませんでした。でも韓国について部屋を教えられて部屋に行った時に初めて話せました。韓国人に私の英語力で通じるか不安でしたが、ジェスチャーを使って伝えたり、単語を使って伝えたりしました。分からなくても本気で伝えようと



すれば相手も理解しようとしてくれました。一緒に勉強やアクティビティーをしていると話す機会が多くなり、私は韓国人と会話ができてうれしかったです。

ご飯の時に料理名、使っている食材を教えてくださいました。キムチ、スープを食べましたが、口に入れた瞬間辛かったです。水もありましたが、紙コップですが、日本とは違って普通の紙を加工して飲んでいるみたいでした。コンビニにも行きました。見たことのないおかしや日本にも売っているものもありました。見ているだけで楽しかったです。

韓国に行く前にニュースを見て行くのが怖かったけど、私がお腹をこわしてしまった時に寮長が優しい方で、韓国語と英語を交えて話しかけてくれました。朝食を食べに行くために移動しているときも擦れ違ったら声をかけてくれました。私はすごく感謝しています。

授業を行ってくれた先生方も自分達のテンションを上げてくれたので笑顔で楽しく受けることができました。また、学校と比べるとアクティビティー中心だからやっている間にだんだん理解できるし、相手に伝わりやすい文を考えて発言するようにもなります。英語を聞く時も自分の知っている単語の意味をつなげると大体の事が分かりました。韓国人は英語ができるので分からないと気付いてくれた時には、分かりやすい言葉で教えてくれて優しさを感じました。ロシア人と話したときもTシャツに「がんばろう」と書いてあり、私はロシアのことはあまり分からないけど日本を知ってくれていると思いました。だから私はもっと色々な国の事を知り、交流をしていきたいと思いました。

次は日本に来てくれるので会うのが楽しみだし、もっと韓国のことを学んでいきたいと思います。また、今回の学んだ事は沢山あります。それを西中のピ

アサポートに生かしたり、中央委員として学校全体に広めていきたいと思っています。

異文化に触れて

西中学校 弘中 秀

僕は韓国人と一緒にご飯を食べたり、寝たり、勉強することによってお互いの事をたくさん知る事ができました。

僕は元々英語を話すことが苦手なので今回の交流事業を通じて少しでも英語を話せるようになりたかったので、申し込みをしました。しかし、みんなについていけるかが不安でしたがいざ英語学習プログラムをすると楽しいゲームばかりでとても面白かったです。それに知らなかった単語もたくさん覚えることができました。さらにゲームをしているとだんだん韓国人と仲良くなりコミュニケーションをとることができました。

英語学習プログラムではゲームの他にビー玉を転がして紙コップに入れるまでの道をドミノなどで作ったりするものやパソコンで自分の好きな家を作ろうなど頭を使うものも多くありました。そのときネイティブの先生の言うことが分からなくて困っていたらわかりやすい単語でやさしく韓国人が教えてくれたのでなんとか皆においつくことができました。その韓国人は自分より他人を優先してくれてとても優しい人だなと思いました。

自由時間の時はみんなでジェンガをしたり日本のじゃんけんを教えてあげたりとても有意義な時間を過ごすことができました。それに日本人も初対面の人ばかりでしたが観光などでとても仲良くなることができました。

ご飯のときは辛い食べ物が多かったけれど、だんだん食べることができました。それに日本とは違った食べ物が多かったけれど、韓国人が説明してくれたのでご飯のときも韓国について学ぶことができました。

今回の経験で韓国人の英語能力に驚かされてばかりだったので、もっと海外に行って英語を学んで韓国人に負けなくらいの英語能力をつけたいなと思いました。それと将来アメリカなどの英語の国に行って仕事をしたいなと思うようになりました。



文化の違いと自分

西中学校 佐藤 彩人

今回の一週間の坡州市の中学生との交流で1つ目に学んだことは相手の意見や考え方を尊重することが国をまたいでも必要になってくることを感じました。

理由は日本と韓国ではそもそも同じ国ではないため文化や考え方が違います。なので当然互いの意見や考え方は大きく変わることがわかります。例えば英語村の食堂で食べた食べ物の中にキムチや辛いスープなどがありました。韓国では辛い食べ物をよく食べるらしいのですが、僕たちが一緒に食べていたグループではあまり辛い食べ物を食べられる人がいない状態でした。ここでもし、僕たちが辛い物を食べることのできる坡州市の人に「なんで!？」や「おかしい」などの悪口を言ってしまえばとても良い気分です。普段体験できないような交流を行うことは全くもって出来ないので、それをもし知った坡州市の中学生にとってはとても耐え難いものになるでしょう。しかし逆に悪口を考えるのではなく、前向きに据え明るい気持ちを作れば良い気分です。プログラムも進められることができます。そしてこれからのことから、日本には日本の文化があり、韓国にも韓国の文化がある。だから大切なのは互いの意見や考え方を尊重し合うことが大切だと感じました。

2つ目に学んだことは不安よりも期待をしようということです。初めての海外ということもあり、緊張をしていたのですが英語村でのプログラムで自分から話しかけてみようというプログラムがありました。ですが僕は話して頭が真っ白になったら嫌だなと思い自分から行動せず、友達と話していました。すると坡州市の中学生が話しかけてくれて、できるかぎり話した所、自分の言いたい事を英語で言うことができ、最初の不安と正反対の楽しさが込み上げ、それからは自分から積極的に動くことができました。

今回の交流企画では自分の中の自分を見直すことができ、文化の違いを感じられるような特別な体験だったのでまたこのような機会があれば参加しようと思います。



6日間の研修報告

西中学校 岩本 昊汰

私は韓国で6日間研修をしました。

滞在2日目から自分のレベルに合ったクラスで楽しく英語を学びました。坡州の中学生は英語が上手く、行く前にもっと勉強すれば良かったと思いました。

英語村では次のようなプログラムがありました。

- ・スライム作り

日本と作り方は同じで簡単でした。理科の実験で作りました。

- ・バッグ作り

国を選んでその国のスローガンを調べ、スローガンと国の名前を書きました。

- ・プロジェクターを使った授業

説明やクイズなどに使っていました。日本と違って面白かったです。

クイズは、ロゴを当てるクイズや、流れる曲の曲名を当てるクイズがありました。Kポップや洋楽ばかりだったのでよく分かりませんでした。

- ・先生に質問

質問するとシールがもらえ、そのシールを一番多く集めた人が表彰されるというものでした。

以上のプログラムを全て英語で行いました。

プログラムを体験して、英語が分からない時もあったけど、先生の丁寧な説明によって分かることができました。この体験を通して、英語でもっとコミュニケーションをとりたいと思いました。

英語プログラムの中で、坡州の中学生と韓国伝統のすごろくをして遊びました。最初は全く分からず、何でこうなるのか、どうしたら上がれるのかと思いましたが、寮長さんが教えてくれたので何となくわかり、一緒に遊ぶことができました。プログラム以外の時間では、同じ部屋の友達と日本から持ち寄ったお菓子を食べたりして交流しました。坡州の中学生と同じ部屋でした。自然と仲良くなれて良かったです。

このような貴重な体験をさせていただき、どうもありがとうございました。



たくさんの友達ができた坡州市英語村研修を終えて

南が丘中学校 杉山 裕太郎

僕はこの研修を通して自分の英語力のなさを感じました。しかし韓国の同世代の子たちはみんな英語力が高いなと感じました。韓国と日本は今、関係が良くないと聞いていたので韓国の人たちはそこまで話しかけてこないだろうと思いつつも緊張して英語村の自分の部屋に入りましたが、すぐに彼らが僕に近づき「Hello. How are you?」と話しかけてくれたので不安だった僕にとってそれがとても良いイメージになり韓国人のみんなともっともっと仲良くなりたいと思い、結果、研修の期間中とても仲良く彼らと過ごすことができました。

そして食事は初日や二日目、三日目までスープやすべてのものが辛くてびっくりして少しずつしか食べられませんでした。キムチも日本のキムチの味と違い驚きました。しかし韓国の生徒たちは日本人がとても辛くてあがいていたものを大盛りを取って食べていたのでこれが韓国では普通なのかなあと感じました。



韓国人の他にもロシア人との交流もありました。その交流の中でロシア人の生徒たちはとても負けず嫌いなんだということがわかりました。それは例えばみんなで紙コップを誰が一番高く積み上げられるかという勝負をしていた時、僕が集めていた紙コップをいつの間にか取っていて周りを見回したらロシア人の子たちが取っていたことが分かった。

びっくりして返して！というとき紙コップを抱えていやだ！と言ったのでそこは譲ったがとてもその子たちの目がキラキラしていて本気で勝ちたいんだという気持ちを感じました。4日目の夜にロシア人と韓国人の生徒たちと一緒にレクリエーションをやったときもロシア人の生徒たちは負けをととても悔しがっていたのでその時も彼らの負けず嫌いを感しました。

この研修を通して他の国の人たちとのコミュニケーションにより自分の英語力が上がったことを感じました。そして韓国人のイメージがより良いものにガラッと変わりました。

将来また坡州市英語村に行けるチャンスがあれば行きたいです。そしてもっと

と もっと英語力をあげてたくさんの人たちとコミュニケーションを取ってみたいと強く思いました。

韓国で学んだこと

渋沢中学校 根岸 星



私は、この研修会をとおして学んだことが主に3つあります。

1つ目は、友達に国籍や言語は全く関係ないということです。日本人だから韓国人と友達になれないかもしれない。研修会前はそう思っていました。ですが、実際韓国に行ってみると、そんなことはないと感じかされました。韓国の子達が、すごくフレンドリーに話し掛けてくれたので最終日には友達が沢山できました。自分がこうしたいと思ったら行動してみる。言ってみる。自分が素直になることで相手にも上手く気持ちが伝わり、国境を越えた友達を作ることができるのかなと思いました。

2つ目は、自分の英語力の低さです。英語は授業内でも韓国の子との会話でもお店でも使います。ですが、実際に自分が話すとなると今まで習ってきた単語が思い出せませんでした。更に、ネイティブの発言に慣れていなかった為、英文を聞き取ることも困難でした。英語は他国だけでなく、日本国内でも重要になってきます。なので英語に対しての慣れは必要だなと感じました。日常の中で分からない英語はすぐ調べる。聞く。日本語を英語に置き換えてみる。英語を常に身近に感じると自分の英語力の向上に繋がるんじゃないかと思います。

3つ目は、韓国への印象の変化です。正直、私は韓国に対して良い印象をあまり持っていませんでした。ですが、研修会に参加して、自分の知らない韓国を知ることができました。韓国には良い所が沢山あります。優しくて面白い韓国人、種類豊富で美味しい食事、古くからの文化、伝統を大切にしている韓国…。私はこの学びから分かったことがあります。それは、勝手なレッテルを貼っていないでレッテルに隠された見えない部分を探すことが大事なんだということです。今、日本は韓国と良い仲とは言えません。その影響で日本人1人1人が韓国に対して悪いレッテルを貼ってしまっています。ですが、私が研修会を通してこのレッテルを剥がせたのと同じ様にレッテルの裏側を見ることで韓国に対する考えが少しでも変わるんじゃないかと思っています。私は今回の体験を今後の日常生活やオリンピックなど外国人が日本に沢山来る日に役立てたいです。

最高の思い出

鶴巻中学校 3年 石川 俊輔

私はこの交流事業を通して英語力の向上だけでなく秦野市の中学生はもちろん坡州市の中学生とも仲良くなれました。

最初は坡州の子とはあまり会話が上手く弾まず日本の子とよく話していました。授業でもコミュニケーションがとれないことが多く、坡州の子と仲良くなれないかもしれないと不安に思っていました。しかし積極的にコミュニケーションをとろうと思いご飯を一緒に食べたり、授業でも頑張っ英語を使って会話をしたりしました。その努力が実を結んだのか、同じクラスや部屋の子、部屋とクラスが違う子とも仲良くなれました。自分にとっては外国人の友達は初めてなのですごく嬉しかったです。

ロシアの子と一緒に韓国の伝統的なすごろくをしたときに、坡州の子が英語を使ってルールを説明していたのですごいと思いました。また、授業を一緒に受けていても坡州の子の英語力の高さを感じていました。日本は韓国に比べて英語の教育が発達していないと思いました。同じ中学生なのにここまでの差を感じたのは初めてです。

今、日本と韓国の関係は戦後最悪とニュースで耳にすることがよくあります。しかし、国と国との関係が悪くても人と人との関係に影響することはないとこの交流を通して一番感じたことです。坡州の子と別れるときはすごく悲しかったですが、今度秦野に来るのでずっと楽しみにしています。



授業は英語の勉強というのではなくゲームのような授業が多かったです。チームに分かれてポイントを稼ぎ、競い合いました。特に印象に残った授業は、パソコン3Dの家をつくったり、ピタゴラススイッチのようにビー玉をコップの中に入れるものを工作したり、粘土とパソコンでピアノを作るなど、日本では体験できないようなこともやらせていただきました。とてもいい経験になりました。

この交流事業を通して私は「絆」がすごく深まったと思います。坡州の子達とは5日間という短い間でしたが、また会いたいと思うほど仲良くなりました。秦野の子とも中学校が違ったり、学年が違ったりしても関係なく仲良くなれま

した。とてもいい経験になりました。

韓国に行って

鶴巻中学校 小川 果子

私は、坡州市英語村中学生派遣事業に参加して本当に良かったと思います。最初は親に参加してみない？と言われ自分はあまり乗り気ではありませんでした。英語で話せるか心配だったし、なにより知っている人がいない中、1人で海外に行くのは初めてだったので、それに対する不安が大きかったです。しかし、これを通して、英語が上手になればと思い、申し込むことを決めました。

7月29日、韓国に行く日が来ました。とても緊張しましたが、バスや空港の中で、友達ができたので、少し安心しました。

英語村に着き、いよいよ韓国の中学生と会いました。韓国の中学生はとても大人っぽくて、メイクもしていました。私たちは、自分たちの部屋で、自己紹介をしたり、お菓子を交換しました。他の部屋の子とも仲良くなれました。みんなで、トランプのババ抜きをやったり、連絡先を交換したりしました。

授業では、ゲームを中心に行いました。日本人と韓国人が混じったグループを作って、グループ対抗でゲームをします。たくさんのゲームをしましたが、私はテレパシーゲームが楽しかったです。

また、今回英語村にはロシアの人達も来ていたので、交流をしました。ロシアの女子寮に行き、3カ国の女の子でゲームをしたり、ピザを食べたりしました。最後は男の子も集まって、みんなでダンスを踊りました。短い時間でしたが、国や言語が違うだけで、みんな同じ中学生ということがわかりました。

今、日本と韓国の関係が悪化していて、良い状態とは言えません。私も韓国に行けるのか、心配でした。私たちは無事に行くことができましたが、11月には韓国の中学生が秦野に訪問する予定です。しかし、このような状態が続けば来られない可能性もあります。そのようなことが無いように、私たちがしっかり英語や、今の政治情勢を勉強して、11月に笑顔で会いたいです。



韓国で学んだ事

鶴巻中学校 高橋 慶多朗

僕は Paju に友だちを作るという目標を持って行きました。内心は英語力に自信がなく、不安な面もありました。しかし、到着後、最初の授業から、みんなノリノリでとても楽しく、友だちとの距離がどんどん縮まりました。また、部屋では韓国人と日本人が同じスマホゲームをやっていたのでとても盛り上がりました。そして気づいたらもう4日目、韓国の友達と別れるのがすごく悲しくなりました。

韓国に行って印象深かった事は「食」です。箸で白米やみそ汁を食べるといふ文化はとても似ていましたが、毎食のように出てくる辛いキムチなどの料理は、口がしびれるほどの辛さでした。最後の夜にみんなで焼き肉に行きました。おいしいお肉をお腹いっぱい食べて幸せでした。

最終日に北朝鮮と韓国との国境 170m手前のところまで来ました。ここでは展望台から北朝鮮の町並みや田畑が見られました。また、南北の戦争の時に使われた第3トンネルに入ったり、戦争で使われた本物の銃なども展示してあり、改めて戦争の怖さを感じました。

行く前までは、緊張や心配がありました。帰ってきた時は韓国にまた行きたいなどと思いました。

今、日本と韓国の関わりがあまり上手くいっていないようですが、また、日本のメンバーと韓国のメンバーと11月に絶対に再開したいです。楽しみにしています。

楽しかった、また行きたいはもちろんの事ですが、英語力の向上や良いコミュニケーションをもっとつきたいので、またこういったイベントには、自分からもっと参加したいと思いました。



韓国人との交流で学んだこと

慶應義塾湘南藤沢 成川 遼大

僕が英語村での韓国人との交流で学んだことは、大きく分けて二つある。

一つ目はコミュニケーションを取るうえで、話すことはとても大事なことだ。今回の研修ではあまり英語の読み書きについては勉強をせず、英語を聞いて話すという授業が多かった。もちろん読み書きも必要だが、スペルは知らなくても発音さえできれば会話はでき、コミュニケーションはできる。その点において普段あまり勉強する機会のないスピーキングは大事だと思った。

今回、研修先で泊まったところは、一部屋に韓国人と日本人が半々ぐらいでもちろん最初は慣れない環境で言語も違う人と暮らし普段よりも生活しづらかった。しかしだんだんと話していくうちに親しくなれ、とても楽しい生活が送れた。研修で友達となった韓国人とは今でも英語のメールでやり取りをしている。これも慣れない英語を使ってお互いに話そうとする気持ちがあるからだと思う。今までは英語を話す際には気恥ずかしさがあったが、この研修のおかげでこれからは恥ずかしがることなく英語を話していけそうだ。



二つ目はどうかして今の日韓関係を改善したいということだ。ニュースでは連日日韓関係の悪化が報道されていて、向こうに行く前は心配だったが、今回の研修旅行では反日感情は全く感じなかった。日本へ帰る前の日に寄ったアウトレットで僕は結構体格のいい人に日本人ですかと英語で聞かれ、その時は少し怖かったが、YES と答えるとその後どんどん質問してきてとても優しく、最後には道案内もしてくれて親切だった。またパジュ市役所の方もとても親切な対応をしてくださって、とても今韓国と日本の関係が悪化しているとは思えなかった。僕が思うに日韓関係の悪化は政府などの一部の人だけでの争いであり、その争いに僕たちのような一般人を巻き込んでほしくないと思った。逆に一部の人争いが日韓関係のすべてではないということを僕らのような文化交流が示していければと思った。そのためにも11月のプログラムは是非実現させたい。

今回の研修旅行はとても貴重な経験になりました。引率してくださった方、

市役所の職員の方、パジュ市役所の方、どうもありがとうございました。

パジュ英語村で学んだこと

洗足学園 羽生 優里菜

私は今回パジュの英語村へ行き、たくさんのことを学んできました。私は韓国に行くのは初めてではありませんでしたが、パジュ市へ来るのは初でした。私が空港に着いた時、いつもは家族と来てるのにこれから5泊6日をともに過ごす人たちと来てることにわくわくをおさえきれませんでした。初めて出会った人たちと5泊6日間共に生活して英語を学んでいけるか不安でした。韓国人の人はもちろん日本人の人たちとも初対面でした。でも飛行機の中から、友達とは仲良くなれました。女の子だけではなく男の子も仲良くなれました。

寮内ではずっと通訳をして、大変こともありました。自分が人の役に立てることもあるんだなと思いました。また、通訳を通じて寮の他の学年の小さい子にも覚えてもらい、帰り際には絵のプレゼントまでもらいました。同じクラスの授業では、韓国人の子と日本人の子と同じグループにして協力してクイズを解き、ゲームをして楽しい時間を過ごしたのは忘れられません。

何日目かの夜にはロシアの子達との交流もありました。相手には英語が喋れない子もいて通じる言語がないにもかかわらず、仲良くしようとしてくれる姿に胸を打たれました。



韓国の子たちが帰る日みんなと連絡先を交換して別れを惜しんでいました。韓国には私は友達がいませんでしたし、人見知りなのでこんな短期間でこんなにも多くの新しい友達ができこの機会を大変嬉しく思いました。実際この6日で女の子内での喧嘩や、言葉が通じないことによる衝突もありましたが、パジュの子たちの優しさに救われました。最初は私が韓国語を喋れることにより日本人の子が話題に入れなかったりすることがあって迷惑だったのかとも思いましたが、最後にパジュの子に私がいてくれたことで楽しかったと言われてとても嬉しかったのを覚えています。

文化の違いもあり、日本の遅れている部分や日本の進んでいる部分も見えました。そのおかげで、私もまだまだな部分がたくさんあると思いました。これからも韓国の子と連絡を続け、もっとこの短期間では知れなかった色々なこと

を知りたいです。

秦野市・坡州市青少年交流事業～坡州市英語村中学生派遣事業～に参加して

県立平塚中等教育学校 宮木 遥愛

今年も、秦野市・坡州市青少年交流事業で、坡州市英語村中学生派遣事業が実施されました。私は抽選で20人のメンバーに入ることができ、坡州市に行くことが出来ました。私にとって初めての海外体験となりました。

不買運動など、日韓の関係が問題になっている中での交流事業でしたが、韓国の中学生たちはそのような雰囲気はなく、むしろ歓迎してくれました。私もずっと韓国に行きたいと思っていたので、行くことが出来て良かったです。また、この交流事業を通して韓国の中学生と仲良くなることが出来ました。韓国の中学生は日本に行きたいと言っていました。

韓国の女の子たちはみんな可愛くて楽しい子たちばかりでした。一緒に UNO をして楽しんだり、写真を撮ったり、お菓子を食べたりしました。私は坡州市



の中学生と別れるときに、「また会おうね」と話をしました。連絡先も交換しました。

英語村では英語漬けの日々でした。そんな日々を体験してみて思ったのは、言葉が通じなくてもある程度は一緒に行動することが出来ること、仲良くなる事が出来るということです。私は英語が力不足でしたが、韓国の

中学生と仲良くなる事が出来ました。でも、もっと英語力が上がれば、出来る事が増えると実感しました。私は、英語だけでなく、色々な言語を身につけて色々な国の人と仲良くなれたらいいと思います。

ロシアの人たちとの交流もありました。小学生くらいの子どもから高校生くらいの方が英語村に来ていて、一緒にミニゲームをしたり、すごろくのような遊びをしたりしてみんなで楽しみました。ロシアの人たちはみんな堂々としていて積極的でした。北方領土の問題もありますが、お互い楽しく過ごすことが出来ました。

坡州市は北朝鮮と接していて、私達もあと170mで北朝鮮というところまで行きました。そこは撮影禁止ということもあり、少し緊張しましたが、とても貴重な経験になりました。

この事業に参加することが出来て、本当に良かったです。

いつか必ず実りあるものになる

不二聖心女子学院 杉本 陽菜

私はこの交流事業でいろいろなことを学び、経験しながら英語力の向上、坡州市の中学生そして一緒に参加した秦野市の中学生と貴重な6日間を過ごすことができました。

坡州市の中学生は4泊5日と私たちよりも短い期間でした。でもその中で強い絆ができたと思います。最初は少し不安でしたが、1日目からとてもフレンドリーな坡州市の中学生に心をひらくことが出来ました。私自身もできる限りの英語を使いながらコミュニケーションを大切にし交流が出来ました。日本と韓国の関係があまりよくない中で私たちと5日間を過ごしてくれた坡州市の中学生の子たちにとっても感謝しています。11月にまた会えるかは微妙だけでも私にとって坡州市の中学生の子たちはいつでも受け入れられる大切な仲間なのでまた会える日を楽しみにしています。

英語学習プログラムでは英語村のネイティブの先生方のご指導のもと speaking はもちろん他にも listening、writing などいろいろな部分から英語力を高めることが出来ました。自分から積極的に質問をしたり、チームでの活動では、同じチームの子たちと協力してクイズに答えたり、製作では意見を出し合ったりしました。相手に伝わるきれいな英語を意識しながら、自分の英語に自信が持てるよう一つ一つの授業を大切に受けることができました。このように授業内では英語だけでなく人との関係、コミュニケーションの大切さも学ぶことができました。

最後に私はこの交流事業を通して、英語力の向上だけでなく異文化交流、人間関係、コミュニケーションなど人として大切なことを学ぶことができました。そしてこの交流で学んだことはいつか必ず実りあるものになると思いました。

今回指導してくださった先生、引率の先生、そして何よりも坡州市の中学生の子たち、秦野市の中学生の子たちには感謝しかありません。今回の交流がこれからの秦野市と坡州市の未来につながるよう交流を続けていきたいです。



パジュ市で学んだこと

森村学園 羽生 世里菜

今回私が、パジュ市で学ばせてもらったことは、仲間の大切さと、英語力だ
と思います。

最初は、韓国の人達と仲良くできるか不安だったけれど、韓国の人達から話
しかけてくれたり、一緒にご飯を食べたりして、仲を深めることができたと思
うので嬉しかったです。私は、英語が苦手で、授業についていけるかわからな
かったけど、先生達が優しく丁寧に教えてくださったので、とても楽しかった
し、勉強になりました。授業は、本当に一つ一つがためになったし、クイズと
かも楽しかったです。あと、いろんな国の先生がいたので、たくさん知識が増
えました。ロシア人との交流では、言葉も通じなかったけど、コミュニケーシ
ョンを頑張って取りました。あと、ロシア人の人達が楽しい遊びを考えていて
くれていて、それを、一緒にできたのでより仲が深まったと思います。ロシア
人の人たちも本当に優しく感動しました。

最初の授業とかでは、積極的に発言できなかったけど、慣れてきたらいつの
間にか自分から英語を話していました。それは、周りのみんなや先生たちが、
発言しやすい環境を作ってくくださったおかげです。私の母は韓国人で私も韓国
語が話せたため、さらに韓国人の友達が増えました。夜も、韓国の人に限らず、
たくさんみんなと話せたので、すごく盛り上がったし、韓国語の勉強にもなり
ました。韓国の人だけでなく、日本人の友達も作れたので、嬉しかったです。
韓国の人達と離れるのはさみしかったけど、連絡先を交換したり、また会う約
束をしたりできたのでとても良い思い出になりました。最後には一緒に写真も
とれたので嬉しかったです。

私はこの五泊六日で、勉強だけで
なく、本当に大切なことをたくさん
学ばせていただきました。いろんな
国の人達と巡り会って、仲良くなる
ということは、なかなか出来ない経
験です。パジュと一緒にきてきて
くださった人を初め、皆さん本当に
ありがとうございました。これから
は、この経験をもとに自分から英語を話したりして頑張って英語の成績を伸ば



したいと思いました。私にとってパジュは忘れられない思い出になりました。
ありがとうございました。